

平成24年照明普及賞優秀施設賞 受賞

神宮会館 講堂棟・相撲場



所在地：三重県伊勢市宇治中之切町152
 建築面積：1,676.10㎡（講堂棟）、1,461.34㎡（相撲場）
 延床面積：3,698.35㎡（講堂棟）、1,377.36㎡（相撲場）
 構造・規模：SRC+一部S造、地上3階、地下1階
 運営：財団法人伊勢神宮崇敬会
 設計：株式会社組
 施工：株式会社組
 完成：平成24年11月

S210

伊勢の神宮の森を望む神宮会館の一角にある講堂棟とその敷地内に設けられていた相撲場が改築整備。
 主要なスペースにはLED照明を採用し、光源色を温白色・昼白色に統一。
 省エネ、低炭素化を意識しつつ周囲環境との調和を図っています。

神宮会館の一角の講堂棟と敷地内の相撲場が改築整備

神宮会館は、伊勢の神宮を参宮する際に宿泊ならびに各種会合に用いられる施設で、昭和27年に竣工。以来、参宮の宿として多くの方々に利用されてきましたが、平成25年の第62回神宮式年遷宮記念事業の一環として、神宮会館の一角に配された講堂棟の建て換え、および敷地内にある相撲場を改築整備。新装した講堂棟は、木材をふんだんに用い、和の趣と先端の設備を備えた1,000人収容可能の大講堂をはじめ、ロビー、大・小会議室などで構成。また、相撲場は、毎年春に神宮奉納大相撲や高校生の神宮奉納全日本ジュニア体重別相撲選手権大会が開催されています。

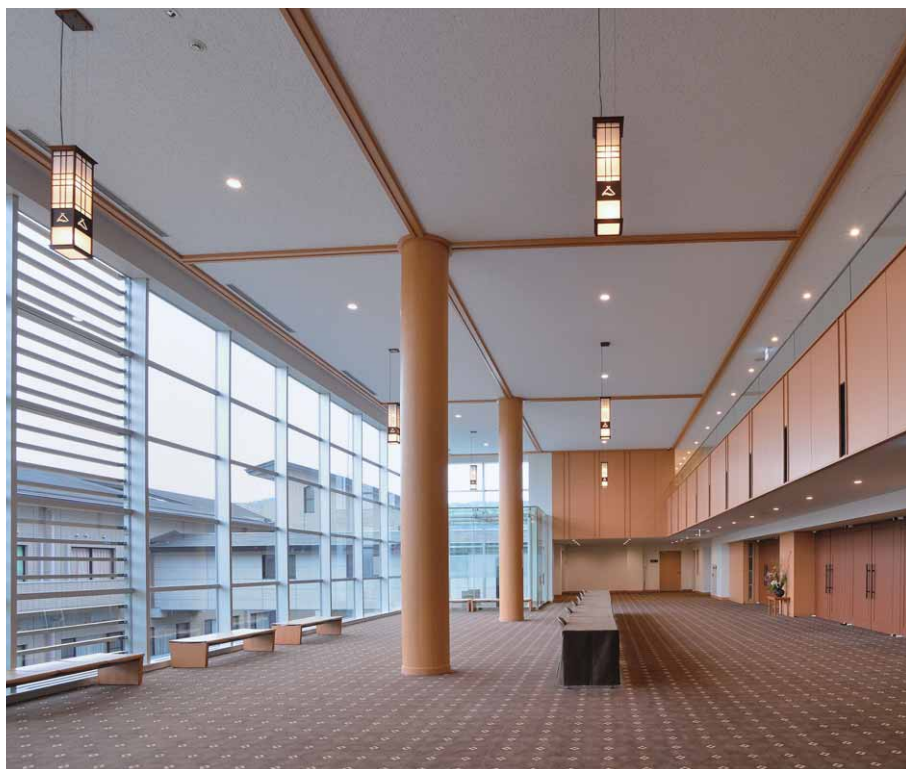
省エネ・省メンテ・長寿命のLED照明を採用し、光源色は温白色・昼白色に統一

講堂棟は、種々の異なる室に対して、その用途に応じた照明を行うと同時に、全体としてバランスのとれた光環境にまとめることも大切な要点。このため光源色を自然に囲まれた環境と調和する温白色・昼白色に統一。同時に高天井を生かした建築的な特徴に配慮し、長寿命でメンテナンスフリー、かつ、高い省エネ性能のLED照明を採用しています。

1階の大講堂の前に配された吹抜ロビーの照明は、東側が全面ガラス張りによる外光との調和を図るとともに、吹抜空間によるメンテナンスの困難さを配慮し、LED一体形ダウンライト高演色タイプを使用し、光のきらめき感で品格が漂う落ち着いた空間を演出。

大講堂は、切妻天井形状で、天井全面に木製ルーバーを用いた意匠となっており、器具は目立たないようにその間にLED一体形ダウンライト高演色タイプ（消費電力118W）を均等配置。約5～100%の調光により多彩な空間演出に対応可能としています。そのほか、会議室には一体形LEDベースライトスクエア器具+LEDライトエンジンダウンライト、控室にはLEDシーリングライト等が採用されています。

また、相撲場は、中央に設けられている吊り屋根内部にLED投光器8台を高さ5mの位置へ配置することで、土俵で相撲を取る力士・競技者の動き・姿を明るく、観やすい光環境としています。



エレベーター側から奥を望むロビーの照明 LED一体形ダウンライト6000シリーズを採用



エレベーターホールのLED一体形ダウンライトによる照明



会議室の照明 一体形LEDベースライトスクエアタイプ+LEDライトエンジンダウンライト調光タイプ



3Fエントランスホールの直管形LEDベースライトによる建築化照明とLED一体形ダウンライト



控室に採用したLEDシーリングライトとLEDライトエンジンダウンライト



ロビー側から舞台側を望む 大講堂天井全面に木製ルーバーを用い、その間にLED一体形ダウンライト9000シリーズを設置



舞台側からロビー方向を望む大講堂



大講堂の側面から奥を望むLED照明



木製ルーバーに配置したLED一体形ダウンライト9000シリーズ



相撲場の照明 吊り屋根内にLED投光器を8台配置し、土俵を明るく照射

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
神宮会館 講堂棟	LED一体形ダウンライト	LEDD-21011L-LS9(改)	271	LED 消費電力:27W
		LEDD-60004ML-LD9	12	LED 消費電力:67W
	LEDライトエンジンダウンライト 一体形LEDベースライトスクエアタイプ 直管形LEDベースライト笠なし器具	LED-90003W-LD9(改)	64	LED 消費電力:118W
		LEDD-16001Y-LD9	21	LED 消費電力:25.4W
		LEDR-60401W-LDJ	28	LED 消費電力:74W
土俵場	LED投光器	LEDT-41007-LDJ	58	LED 消費電力:30.5W
		LEDS-15401WW	8	LED 消費電力:150W